

令和元年度 第2回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	令和元年 11 月 18 日（月） 14:00～15:35	
開催場所	二宮町役場庁舎 2階 第一会議室	
出席者	委員	出席者 14名（うち代理出席 3名）、欠席 5名
	その他	傍聴 4名
	事務局	政策総務部 4名、都市部 2名、健康福祉部 1名
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) コミュニティバスの利用促進事業について (2) 次年度コミュニティバスの臨時運行について (3) 「二宮町交通実態アンケート調査」について (4) 二宮町地域公共交通計画 後期施策（案）について (5) その他 4. 閉会	

協議会委員出席名簿

No	氏名	所属	出欠	備考
1	府川 陽一	二宮町	○	
2	山下 康宏	神奈川中央交通株式会社	○	
3	小嶋 光行	神奈中タクシー株式会社	○	
4	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会	○	
5	林 好治	一般社団法人神奈川県タクシー協会	×	
6	阿部 正昭	二宮町地区長連絡協議会	○	
7	高見澤 秀男	二宮町ゆめクラブ連合会	○	
8	里見 拓	二宮町PTA連絡協議会	×	
9	高見 利和	一般公募	○	
10	依田 久司	一般公募	×	
11	小泉 伸介	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	×	
12	石井 忠孝	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	○	
13	浅野 雄一	神奈川県平塚土木事務所	○	
14	山際 健一	神奈川県県土整備局	○	代理
15	椎野 文彦	二宮町都市部	○	
16	高橋 洋	神奈川県大磯警察署	○	代理
17	東 耕太郎	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	×	
18	梶田 佳孝	東海大学 工学部土木工学科	○	
19	松本 幸生	二宮町健康福祉部	○	代理

議事概要

1. 開会
2. 会長及び副会長の選出について
3. あいさつ
4. 議題

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

・議題（1）コミュニティバスの利用促進事業について（協議）

- 配布した回数券を利用した人が、どこで降車したのかがわかるデータはありますか。
- 回数券の特定ができないため、わかりません。
- この表にある団体等とは、どういった団体ですか。
- 水泳クラブ等の団体や水泳大会などです。団体利用の方には、回数券の配布はしていません。
- ◎配布した 169 枚のうち、小学生ほどのくらいでしょうか。
- 統計をとっていないため、わかりません。
- ◎配布した回数券の使用実績はわかりますか。
- 一般の回数券と同じものを使っているため、わかりません。
- ◎周知はどのくらいされたのでしょうか。
- 事前に町内小学校にチラシを配布しました。また、途中から配布対象を変えたため、受付に貼っていたポスターを変更したうえ、受付の方に積極的にお声がけをしていただきました。
- ◎もともと自転車利用は多いのでしょうか。
- 小学生は自転車で来るか、保護者による送迎が多く、バスの利用は想定以上に低かったです。
- 今後は、小学生・幼児と 65 歳以上の方に回数券を配布して、利用促進を図るということでしょうか。
- そのような計画でいます。
- ◎これはいつから配るのででしょうか。
- 協議会の承認が得られれば、今年度より実施したいと考えています。
- ◎「簡易なガイド表」というのは、もうすでに作ってあるのでしょうか。
- まだ作成はしていませんが、富士見が丘地区で既に作成しているものを参考に作成したいと考えています。
- ◎富士見が丘地区のものは、既に使用されているガイド表なのでしょうか。
- 折ると名刺以下の大きさになる紙で、作成しており、公民館など地域の集会施設に置いてあり、定期的に補充しないとなくなってしまう程、地域の方には持っていらっていません。
- 65 歳以上の高齢者に配布するというのは、通いの場に来る方に宣伝していくのですか。また回数券が余ったからこの事業をやるのか、それとももともとやる予定だったのですか。
- この利用促進策は、幼稚園・小学生を対象としたものと合わせて考えたものです。実施にあたり来場者だけではなく、運営側の方たちも視野に入れて考えています。また、山西プールと連携したコミュニティバスの利用促進事業で配布にいらなった回数券

を使用して、今後のコミュニティバスの利用促進につなげていきたいと考えています。

○回数券というのは何枚つづりなのでしょうか。

●12枚つづりです。

○転入されてきた方や学校を卒業して就職される方など、今までの生活環境が変わる時が公共交通に切り替えるチャンスでもあるので、転入届を出されたときにこの回数券をお渡ししたり、就職した際にお渡ししたりするのはいかがかと思えます。

●コミュニティバスを知っていただく機会にもなるため、できればすぐに実施したいと思えます。

◎転入者はどのくらいいるのでしょうか。

●年間で転入者は1,000人程、月では70~80人程です。

◎コミュニティバスの利用促進事業について、協議会として承認するという事によろしいでしょうか。

異議なし

◎承認いただきました。

・議題（2）次年度コミュニティバスの臨時運行について（協議）

○コミュニティバスに時々乗って観察していますが、生活のために利用しているというのは、その通りだと思います。その意味で、体育祭や吊るし雛などのイベント時の運行はいいと思っています。むしろ、本当は土日も含めて毎日の運行が理想ですが、費用などいろいろな面で、難しいと思います。せめて土日は除いて祝日は走らせるというようなパターンを決めないと、周知徹底ができないと思います。年間で結構な日数になりますが、祝日は走らせるとするのはいかがでしょうか。

●吊るし雛も実績が1回しかないので提案をさせていただいていますが、あまり伸びないのではないかと思います。次年度の予算は確保しつつ、来年の2月の実績を踏まえて、来年の5月の協議会で協議したうえで決定しても間に合うと考えられます。また、祝日の運行についてもおっしゃる通りではありますが、運転手の働き方改革と運転手不足の現状を加味しつつ、運行会社と一度調整します。

◎土日の運行ニーズはあるのでしょうか。

●たまに運行しても周知の課題があるため、正確なニーズはわかりません。来年度のGW期間中の臨時運行の際は、周知に力を入れる必要があると考えています。

◎来年度GW期間中の運行日は未定でしょうか。

●まだ調整できていません。

◎次年度コミュニティバスの臨時運行について、協議会として承認するという事によろしいでしょうか。

異議なし

◎承認いただきました。

・議題（3）「二宮町交通実態アンケート調査」について（協議）

○特に高齢者の生活に関する事を調査するならば、対象の中で高齢者の比率を多くした方がよいと思います。地域における考え方や意見の違いなどの観点から課題や困っていること等が、見えると思うので、高齢者を対象に地域ごとで調査を行うのはいかがでしょうか。

●定期的に行ってきているアンケートを今回だけ配布条件を変えてしまうと、経過が見られなくなってしまうのではないかとこの可能性があります。今回のアンケートは、例年通り配布対象の変更せずに行い、このアンケートとは別に高齢者に向けた調査を行うという方法もあると思います。

◎今回のアンケートは交通実態の調査のため、対象者を限定せずに均等に調査しないといけないと思います。しかし、高齢者の課題はあるため、別の方法で調査を検討すべきかもしれません。

◎配布対象は、1,000人というのは、理由があるのでしょうか。

●今までも1,000人規模であったためそれをベースにしています。統計としても3万人程度の二宮町が1,000通発送し、3割の回答が得られれば有効であるとされています。

○アンケートは住民対象で、二宮高校の生徒は対象に入っていないですね。二宮高校の生徒がよくバスを利用して通学しているのをよく見ます。生徒の中には町民ではない方もいるとは思いますが、生徒にもアンケート調査をして傾向をつかめれば参考になると思います。

◎二宮高校に何部かお願いするというのも一つの手だとは思いますが、検討してみてください。

●調整します。

◎「二宮町交通実態アンケート調査」の概要について、協議会として承認するということがよろしいでしょうか。

異議なし

◎承認いただきました。項目については次回に協議するので、追加した方が良くと思う項目があれば、11月中までに事務局に連絡してください。

・議題（4）二宮町地域公共交通計画 後期施策（案）について（協議）

○p.30のコミュニティバス過去近年の実績で、平成25～28年は、例年よりも半分程度に下がっている理由は何でしょうか。

●平成25年にコミュニティバスの路線改編を行いました。この改編の前までは、町内を循環していましたが、町内を半分に分けた時の右側の富士見が丘地区にはデマンドタクシーを、左側の地区ではコミュニティバスを運行していました。このため、コミュニティバスの運行ルートが狭まったことから、利便性が下がったと考えています。平成29年度からは、現在のコミュニティバスの運行ルートへ改編したため、利用率も回復しました。

◎神奈中さんのバスロケーションシステムは結構利用されているのでしょうか。

○利用実態は図れませんが、とても便利だと思います。

◎地域を巻き込んだ公共交通活性化の仕組みづくりについては、福祉との連携も視野に入れて検討していくのは良いと思います。

○交通弱者の増大に対応する交通システムの研究の方向性について、町が先導的にシステムを導入して行うことよりも、地域の方々と調整しながら行っていくことが、住民の意識向上にも繋がるため、積極的にやっていると良いと思います。他市の事例で、収支率80%を超えている市民バスがありますが、そういった地域はやはり市民の関心が高く、とても熱心で自分たちで市民バスを維持していこうという意識が高いです。

二宮町でも町民の意識を今以上に上げれば利用促進の業績が伸びるのではないかと思います。

○この計画の全般に関わることですが、将来にわたって持続可能な公共交通について、「安全の確保」が大切なことだと思いますので、「将来に向けて安全で持続可能な公共交通」等に変更していただきたいと思います。

●次回の協議会で決定したいと思いますので、ご意見等があれば11月中に事務局へご連絡ください。

・議題（5）その他

●「二宮町地域公共交通計画 後期施策（案）」や「二宮町交通実態アンケート調査」については、次回の協議会である程度修正したものを出したいと考えておりますので、ご意見等があれば11月中を目途に事務局へご連絡ください。

●次回の会議を、国庫の関係で1月中下旬頃に毎年設定させていただいているので、今回もそのくらいのタイミングで設定したいと考えております。また日程等の調整をお願いいたします。

以上